

# 令和3年度第1回浜松市地域包括支援センター 運営協議会会議録

1 開催日時 令和3年7月9日（金） 午後7時00分から午後8時30分

2 開催場所 浜松市役所 北館1階 101・102会議室

## 3 出席状況

出席（8名）

小野宏志委員 月井英喜委員 弓桁智浩委員 松岡徹委員  
杉山晴康委員 宇佐美嘉康委員 窪野伸治委員 島谷秀明委員

欠席（2名）

才川隆弘委員 本田彰子委員

事務局（16名）

介護保険課 : 加藤課長  
高齢者福祉課 : 恒川課長、鈴木担当課長、亀田補佐  
地域包括ケア推進グループ : 坂本G長、成瀬主幹、佐久間主任  
栗田主任、近藤  
各区長寿保険課 : (中) 鈴木課長 (東) 青野課長  
(西) 櫻井課長 (南) 島課長  
(北) 藤田課長 (浜北) 片山課長  
(天竜) 谷野課長

4 傍聴者 0人

## 5 議事内容

- (1) 副会長の選任
- (2) 令和2年度地域包括支援センター事業報告について
- (3) 令和3年度地域包括支援センター事業計画について
- (4) 予防給付業務を委託する居宅介護支援事業所の追加承認について

6 会議録作成者 高齢者福祉課 坂本 田佳子

7 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無  有・無

## 8 会議記録

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

### 3 新任委員の紹介

### 4 議 事

#### (1) 副会長の選任

##### ◎概要

前副会長の退任に伴い、新副会長は本田彰子委員とすることを全員一致で了承された。

#### (2) 令和2年度地域包括支援センター事業報告について

##### ◎概要

令和2年度地域包括支援センター事業報告について説明し承認を得た。

##### ◎発言内容

(事務局) 資料1、資料2、資料3、資料4に基づき説明

#### <質疑・意見>

##### (委員)

ケアマネジャーに対する指導内容はどのようなものか、支援困難事例の定義を教えてください。

##### (事務局)

ケアマネジャーへの指導内容は、分類していないため詳細は把握していない。総合相談件数の1割くらいがケアマネジャーからの相談であり、そのうちの2割くらいが支援困難事例である。支援困難事例の定義については、統一したものを示していない。

##### (委員)

ケアマネジャーに対する指導件数が増えているので、ケアマネジャーの力が伸びていないのなら、その内容を介護支援専門員連絡協議会へフィードバックしてもらいたい。

また、ケアマネジャーは、特定事業所加算を受けているところは、地域包括支援センターからの支援困難事例を受けることとされている。地域包括支援センターによって支援困難事例の定義に違いがでないよう、明確に示せると良い。

##### (事務局)

参考にさせていただく。

##### (委員)

医療と介護連携体制構築活動回数は、細江や天竜、北遠中央は、回数が多いが、行ったことを共有しているか。やっていることが次に繋がるような手を打っているか。

##### (事務局)

好事例を周知することは検討課題である。昨年度ヒアリングをした中で、先進的な取り組みをしているセンターもあるので、機会を捉えて周知をしていきたい。

**(委員)**

ぜひ考えていただきたい。

ロコモーショントレーニングをやることで要介護になるのを遅らせたり、元気で自立した時間が伸びたなど、目に見えるものがあるか。

**(事務局)**

ロコモーショントレーニングは団体毎に管理をしており、個人管理はしていないが、3か月後と6か月後に開眼片足立ちの指標を使って評価をしている。開眼片足立ちの秒数が低いと転倒の危険性が高まるとされているが、ロコトレ開始3か月後の開眼片足立ちの秒数は、ロコトレを開始時より大きく伸びているという結果が出ている。また、ロコトレを継続することで、3か月以降もその状態を維持できているという結果になっている。

**(委員)**

やることによって皆が元気で過ごせることが分かるよう、市民にもフィードバックできるとよい。

**(会長)**

他に意見はあるか。

**(委員一同)**

異議なし。

**(3) 令和3年度地域包括支援センター事業計画について**

**◎概要**

令和3年度地域包括支援センター事業計画について説明し承認を得た。

**◎発言内容**

**(事務局)** 資料5、資料6に基づき説明

**<質疑・意見>**

**(委員)**

業務委託料は昨年、一昨年と変わっていないか。

**(事務局)**

基本事業費の委託料の積算根拠は変わらない。

**(委員)**

職員配置のところで、人を集める難しさがあるのではないかと考えるが、人件費の増額は考えているか。

**(事務局)**

今のところ、人件費の増額は考えていない。しかし、高齢者人口に応じて、職員配置数を変更していくこととなっているため、職員配置数が増えれば増額となる。今回、細江が、高齢者人口の増加に伴い1人増員となり、増額となっている。

**(委員)**

高齢者人口に応じて、人件費が決まっていくということでよいか。他の介護サービス事業所と賃金等を照らし合わせ、増額していく考えはないか。また、この予算でやっていけるのか。3年前はぎりぎりで行っているとの話だった。運営の大変さ、他の介護サ

ービス事業所の専門職との賃金格差を是正するよう検討してほしい。

**(事務局)**

参考にする。

**(委員)**

計画を見させていただき、重点取組事項をはじめとして幅広い業務をこの環境下で積極的にやっているという感想を持った。その中でも、これはいいなと思う活動がいくつかあるが、そういったものを、地域包括支援センター間で共有したり、市民に公開して、もっと幅広く知ってもらうような活動はしているか。

**(事務局)**

センター長会議の中で、重点取組事項を共有したりしたことはあるが、市民向けには周知していない。地域包括支援センターでは、市民向け講座等をチラシや回覧などで周知している。

**(委員)**

市民が情報を積極的に取りに行くのも大切だが、より良い活動をより広く知っていただきたい。

**(事務局)**

地域包括支援センターの活動を、市民に知っていただくことは必要だと考えているので、検討する。

**(委員)**

欠員があっても補充しないことは感心しないが、突然欠員が生じた場合で、欠員が生じていないときと同じような質や量の業務をしたとしても、委託料は減額されてしまう。その場合、地域包括支援センターは時間外勤務手当も払わなくてはいけないのに、委託料が減額されてしまい、頑張らなくてもいいという考えに成りかねない。その辺を改善することはできないか。

**(事務局)**

条例により高齢者人口に応じて配置すべき職員数を定めている。また各地域包括支援センターの収支も確認している。今後、そこらを踏まえながら総合的に考えていきたい。

**(委員)**

業務内容についても、少ない人数でやっていることを評価していただきたい。

**(事務局)**

今年度、業務改善ワーキングを立ち上げようと思っている。地域包括支援センター職員と一緒に、何が負担になっているのかを把握分析し、業務の見直しを行っていきたい。業務の見直しを行った上で、現行の委託料でやれるのかを検討していきたい。現状では条例に基づいて職員配置数を定めているため、欠員が生じた場合には委託料を減額することに関して、ご理解いただきたい。

**(委員)**

条例で、きちんと仕事をしていれば、減額をしないという条例になるとよいと思う。この計画（資料）を作成するのにどのくらいの時間がかかっているのか。

**(事務局)**

具体的な作成時間は把握していないが、市に提出するだけで終わりになる資料ではない。センターは、この計画を基に、1年間事業を実施し、この計画表をアレンジして業

務の進捗管理を実施しているセンターもあり、活用されている。

(会長)

他に意見はあるか。

(委員一同)

異議なし。

(4) 予防給付業務を委託する居宅介護支援事業所の追加承認について

**◎概要**

予防給付業務を委託する居宅介護支援事業所の追加承認について説明し承認を得た。

**◎発言内容**

(事務局) 資料7に基づき説明

**<質疑・意見>**

(委員)

東京都や愛知県の事業所もある。自分たちが受けた場合には、モニタリングをきちんと行っていかないといけないと思うが、遠方のケースを受ける方法について、例えば、訪問ではなく、電話などでも許されればもっと受けられるのではないか。

(事務局)

本人の居場所が市内ではないということだと思うので、地域包括支援センターは書面や電話でのやり取りで給付管理をしている状況と思われる。

(会長)

他に意見はあるか。

(委員一同)

異議なし。

**《連絡事項》**

(事務局)

会議の資料については、取扱いに注意をお願いしたい。

事務局職員2名（健康医療課・健康増進課）の欠席についてお詫びを申し上げる。

(事務局)

次回の協議会は10月頃を予定している。

本日の議事録は、作成後送付するので確認をお願いする。

5 閉 会